

国立駅周辺 整備事業 の現在

(2022.10 改訂版)



令和 4 (2022) 年 10 月
国立市

はじめに

本冊子は、国立駅周辺整備事業が現在どのような計画となっているのか、どのように整備されるのかをお伝えする冊子です。広く市民の皆様にご確認いただくと幸いです。

国立駅周辺整備事業は、多くの市民、議会、関係機関、関係事業者の皆様のご理解、ご協力により進められているものです。改めて感謝を申し上げますとともに、引き続きご理解、ご協力をたまわりますようお願いいたします。

これからも多くの人に愛され、住みたいまち、住み続けたいまちとして発展を続けていくよう、まちづくりを行ってまいります。

令和4(2022)年10月 国立市

1. これまでの経緯

(1) 国立駅周辺まちづくり基本計画

- ・国立駅周辺のまちづくりを進めていくにあたっての基本的な方向性を示す「国立駅周辺まちづくり基本計画」を平成21(2009)年11月に策定しました。
- ・基本計画ではまちづくりの理念を「一まちと人がつながる、緑と文化のくにたち広場」とし、以下の5つをまちづくりの目標として定めています。
 - ①市民が集い、来訪者を迎え、にぎわいと交流のあるまちづくり
 - ②人にやさしい、安全で安心な環境作りや環境負荷低減のまちづくり
 - ③駅周辺の景観とシンボルをいかしたまちづくり
 - ④個性的なまちなみを生かした回遊性のあるまちづくり
 - ⑤出会いと発見、文化を発信するまちづくり
- ・この計画に基づき、以降、事業内容の検討、決定を行ってまいりました。

(2) 国立駅周辺まちづくり会議

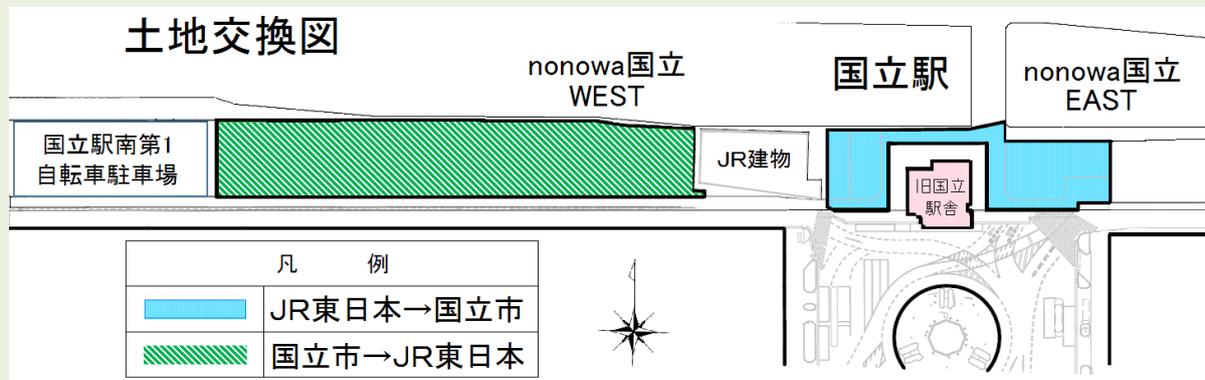
- ・国立駅周辺の整備事業を推進するために、多岐にわたる事業を一貫してコーディネートしていくことを目的に、市民や学識経験者、関係機関等が一堂に会して事業を検討できる組織として、国立駅周辺まちづくり会議(以下、まちづくり会議)を設置し、関係機関との協議に向けた条件整理等の検討を行いました(公募市民4名を含む12名の委員)。
- ・まちづくり会議は、平成22(2010)年8月から平成25(2013)年9月まで開催され、国立駅南北駅前広場の整備方針、国立駅周辺の交通計画、旧国立駅舎再築を含めた国立駅周辺の景観のあり方、国立市が利用可能な高架下部分の活用方法等を検討しました。
- ・それを受けて、以後の関係機関との協議、事業展開に向けた補助金申請等、事業の具体化については市に委ねられることになりました。

(3) 個別事業の具体化の検討、決定

- ・国立駅周辺の交通計画は、交通管理者との協議を段階を分けて行い、平成 27（2015）年 4 月に北口駅前広場、北 1 号線、西 1 号線、西 1 条線（延伸部含む）の協議を終了し、平成 28（2016）年 1 月に南口駅前広場、東 1 号線の協議を終了しました。
- ・北口駅前広場整備事業は、平成 31（2019）年 3 月に完了しました。
- ・都市計画道路 3・4・10 号線整備事業は、平成 30（2018）年度に電線共同溝設置工事等、令和 2（2020）年度に道路築造工事を行い、令和 3（2021）年 3 月に開通しました。
- ・旧国立駅舎再築事業は、J R 東日本のご協力のもと平成 29（2017）年 2 月に用地売買契約を締結し、平成 30（2018）年 6 月に工事着手し、令和 2（2020）年 4 月に施設を開設しました。
- ・高架下市民利用施設整備事業は、広域連携の観点から、共同で施設を設置するための国分寺市との協議、平成 29（2017）年度の整備工事を経て、平成 30（2018）年 5 月に施設を開設しました。
- ・南口複合公共施設整備事業は、平成 27（2015）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画（素案）」の策定、パブリックコメント等を行い、平成 28（2016）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめ、平成 29（2017）年に事業者ヒアリング等を行いました。

(4) 国立駅南口における用地交換

- ・平成 29（2017）年に、J R 東日本が国立駅南口に商業ビル 2 棟を建設する計画の報道がありました。この計画に対して、市民やまちづくり推進団体から再考を望む声上がり市議会でも審議されました。
- ・市と J R 東日本は、国立駅周辺のまちづくりに資する国立駅南口の開発の考え方について協議を重ねた結果、下図のように用地交換することを、令和 3（2021）年 3 月に合意しました。

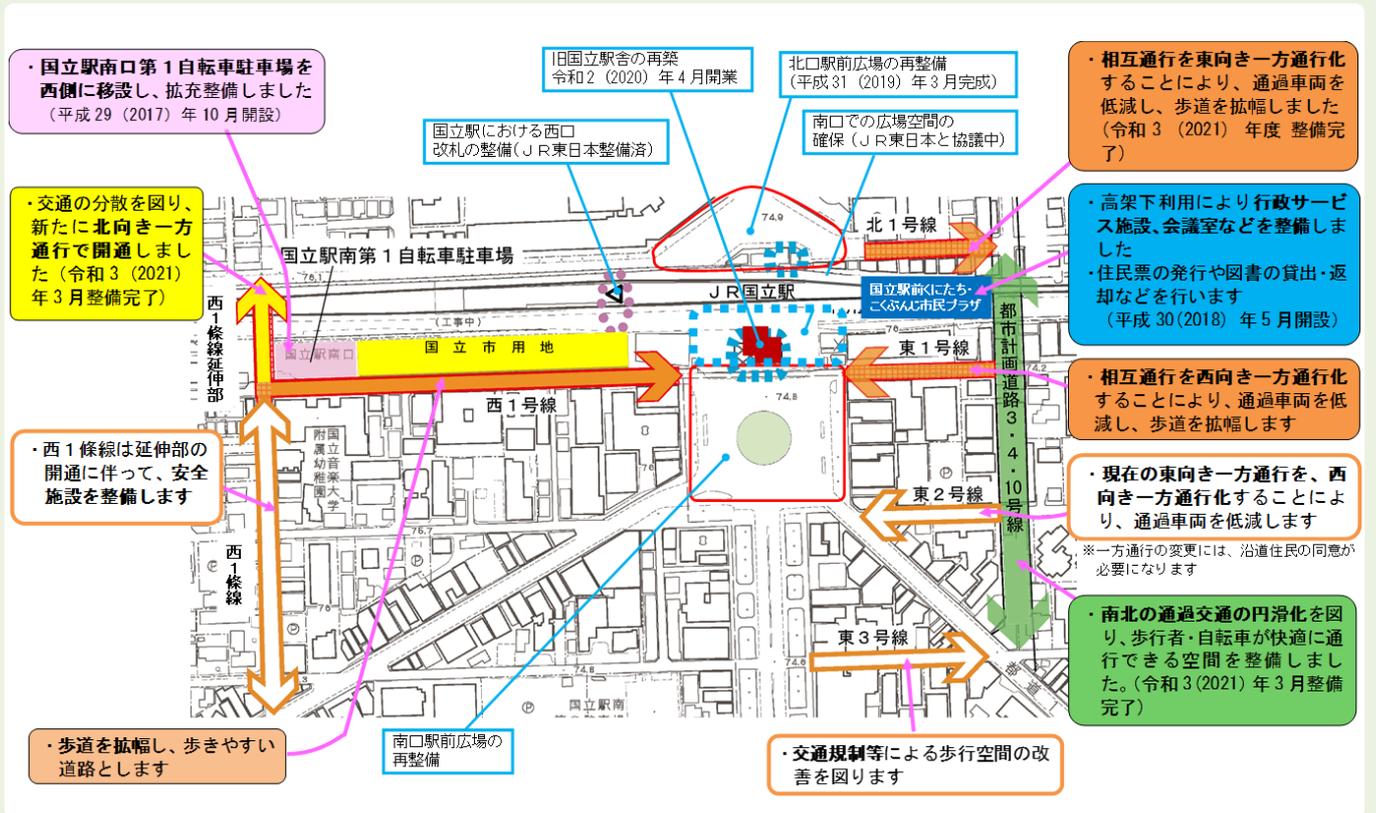


○交換後の土地利用の方針

- * 市は、取得用地を歩行者空間の創出等のための広場空間として利活用します。
- * JR 東日本または JR 東日本の関連会社は、取得用地について、隣接する所有地と合わせて建物高さ 31m 以下の商業施設棟および賃貸住宅棟を計画します。
- * 市は、子育て支援の公共機能を整備するために、賃貸住宅棟内の約 700 m²を賃借します。
- * 商業施設棟敷地内に、国立駅 nonowa 口改札に通じる連絡通路を新たに整備します(現在の西連絡通路と東連絡通路は廃止します)。

2. 国立駅周辺整備における各事業の整備内容

(1) 道路



▲各路線の整備内容

【整備の考え方】

- ・国立駅周辺を歩きやすい空間とするため、道路の一方通行化を行い、歩道を拡幅します。
- ・また、国立駅周辺の交通体系を変更することで国立駅前の通過交通を低減します。
- ・都市計画道路3・4・10号線、北1号線、東1号線については、電線共同溝を整備し、電線を地中化することで、良好な道路環境とします。
- ・これまでに国立駅周辺まちづくり会議で議論し、交通管理者と協議してきた広場計画等の内容を踏まえ、国立駅周辺全体の交通規制のあり方について、整備に向けた協議を行います。
- ・これまでの関係機関等との協議を踏まえた整備の予定は、以下のとおりです。

○整備実施路線：3・4・10号線、北1号線、東1号線、西1号線、西1条線延伸部

○整備検討路線：東2号線、東3号線

※整備検討路線については、路線断面の大幅な変更がないため、道路の損傷状況や財源を見据えて、今後、整備手法の検討を行います。

【交通体系の変更】

令和3（2021）年3月27日に国立駅周辺の交通体系が変わりました。



※図中の▲と▲の交通規制については、今後の沿線住民や交通管理者との協議により変更となる場合があります。

① 3・4・10号線開通

都市計画道路3・4・10号線（赤矢印）が開通したことにより、国立駅南北交通の主要動線ができ、旭通りと国立駅北側の行き来がしやすくなりました。それに伴い、東1号線（青矢印）は西向きの一方通行となりました。

② 西1号線延伸

西1号線延伸部（緑矢印）が開通したことにより、南口駅前広場を経由せずに国立駅北側に行けるようになりました。これにより交通が分散され、南口駅前広場の交通量も低減します。

③ 信号機の移設

都市計画道路3・4・10号線と旭通りの交差点は、周辺の交差点よりも交通量があることから、東4号線と旭通りの交差点の信号を移設しました。

④ 信号機の撤去

西1号線と西3号線の交差点は、富士見通り側の交差点と近接しすぎているため、令和3（2021）年2月5日に信号が撤去され、南北優先の道路となりました。



▲整備完了後の北1号線（北口駅前商店街沿い）

【整備スケジュール（予定）】

- ・西1号線 : 令和4（2022）年度 ～ 令和6（2024）年度
- ・東1号線 : 令和3（2021）年度 ～ 令和7（2025）年度
- ・東2号線 : 未定（道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。）
- ・東3号線 : 未定（道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。）
- ・都市計画道路3・4・10号線（北）：未定（経済動向を勘案し着手時期を決定します。）

（2）駅前広場

①北口駅前広場整備事業



▲整備後の北口駅前広場

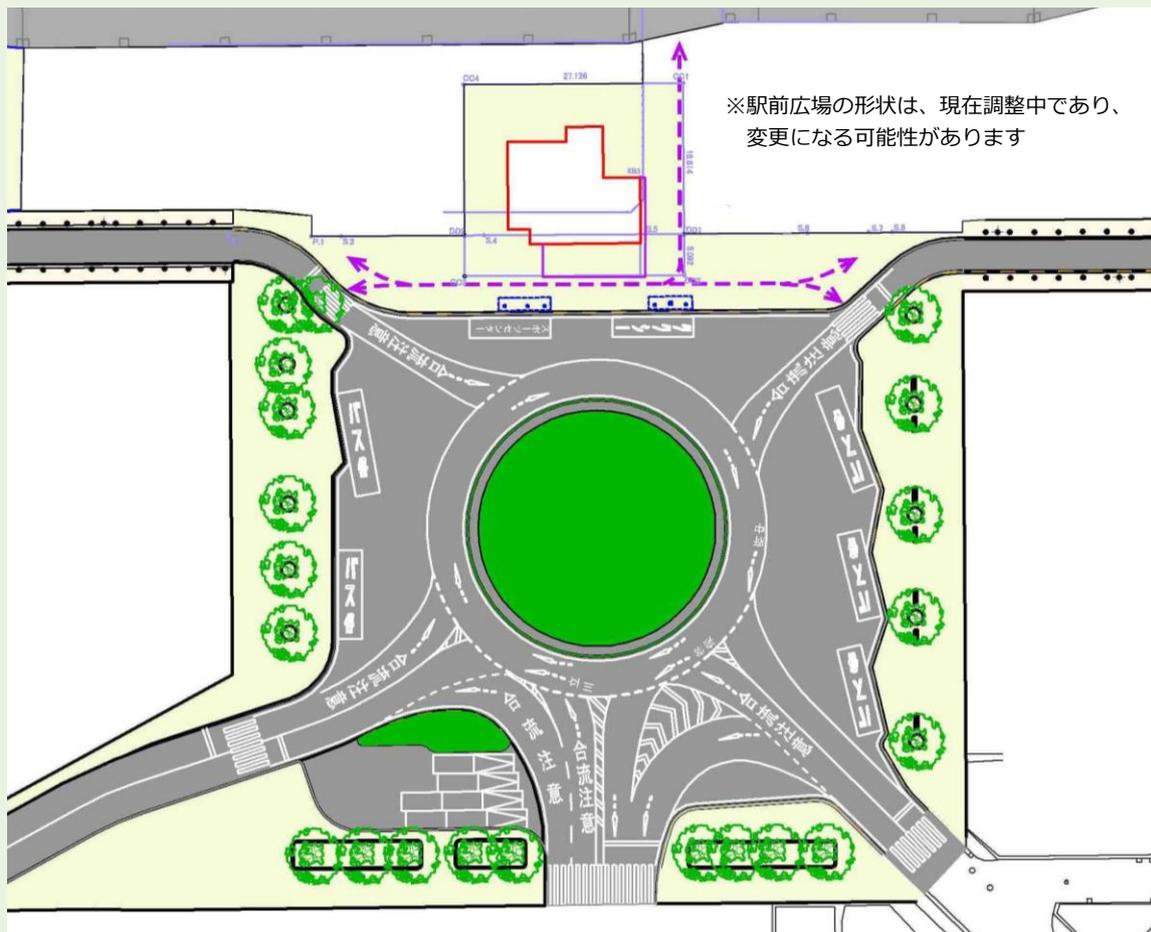
【整備の考え方】

- ・北口駅前広場は自動車動線を整理し、歩行者の横断距離を低減することで安全性の向上を図りました。
- ・ラチ外コンコース（通称、南北通路）前に環境空間となる広場を整備して、「北口駅前広場－旧駅舎－南口駅前広場の一体化」を図りました。
- ・北1号線の歩道拡幅やJR東日本の整備による歩行空間「ののみち」と併せて、国立駅周辺の回遊性が高まります。
- ・駅側のバス停にもシェルターを整備することで、雨天時等のバス待ちがしやすくなりました。
- ・駅北西側からの利用においては、nonowa口改札を利用するとより利便性が高く、かつ安全です。

【整備スケジュール】

- ・平成31（2019）年3月 整備完了

②南口駅前広場(交通広場)整備事業



【整備の考え方】

- ・南口駅前広場はロータリー形状を維持したまま、歩行者空間を拡大します。また、交通動線を整理して安全性を高め、バリアフリー対応とします。
- ・円形公園の活用については、イベント時等、非日常的に市民が立ち入り可能となるように検討、協議を行います。
- ・バス停は車いす等でも乗降可能なように、ロータリーの外周に設けることとします。
- ・これに伴い、乗降のバス停が同じ位置となります。

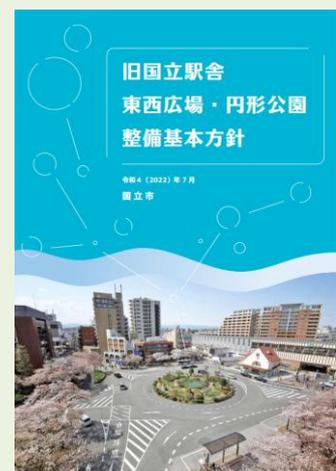
【整備スケジュール (予定)】

- ・工事 : 令和7(2025)年度 ~ 令和8(2026)年度

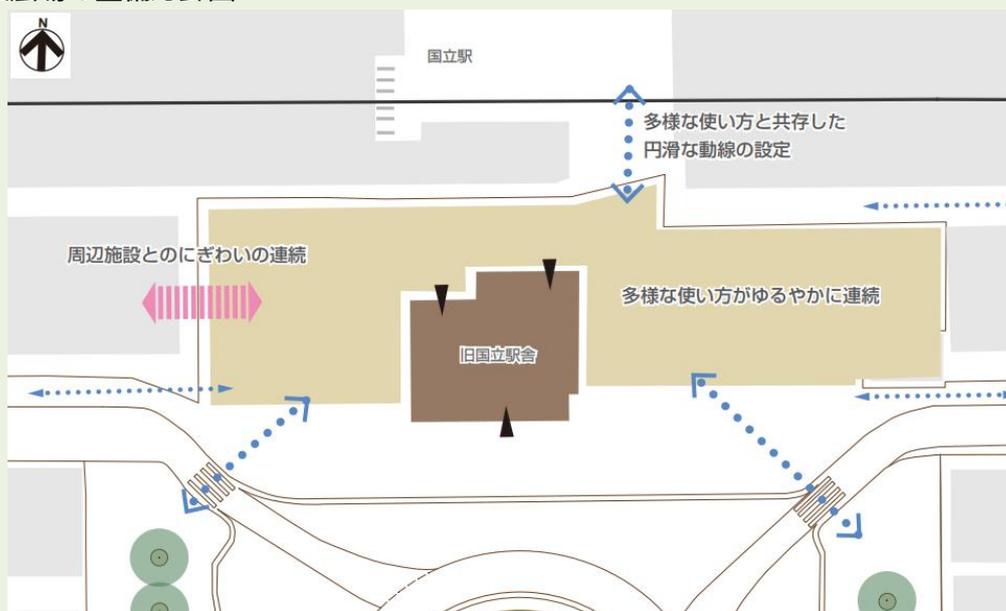
③旧国立駅舎東西広場・円形公園整備事業

【整備の考え方】

- ・用地交換により市が取得する旧国立駅舎東西の用地を広場空間として活用するために整備します。
- ・国立駅南口の交通広場や旧国立駅舎東西広場の整備と連動して、円形公園の再整備も行います。
- ・周辺市街地への配慮や今後の利活用を想定しながら、国立駅前の広場空間として必要な機能やデザインに関して基本的な方向性を定めた「旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針」を令和4年7月に策定しました。



■東西広場の整備方針図



■円形公園の整備方針図



【デザインアイデアコンペの実施】

- ・皆さまの想いを集めた「くにたち」の顔となる広場の整備の実現をめざして、国立駅の南口が地域のための場所としてこうなったらイイなというデザインアイデアを募集中です。

応募対象：子どもから大人までどなたでも応募できます

応募期間：令和4（2022）年10月12日（水）～12月12日（月）

※予備審査を通過した作品は、令和5（2023）年1月中旬（予定）に国立市内の公共施設で作品及び作品名を展示します。

※最終結果は、令和5年（2023）年3月21日（火・祝）に予定しているシンポジウムに合わせて、国立市のホームページで発表します。シンポジウムでは、表彰式及び作品展示を行います。



▲アイデアコンペの
国立市ホームページ

【整備スケジュール（予定）】

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ・令和4（2022）年度 | デザインアイデアコンペ |
| ・令和5（2023）年度 | 設計事業者選定プロポーザル |
| ・令和5（2023）年度～令和6（2024）年度 | 設計 |
| ・令和7（2025）年度～令和8（2026）年度 | 工事 |

(3) 公共施設

①旧国立駅舎再築事業



▲広間



▲まち案内所

【整備の考え方】

- ・旧国立駅舎再築用地の周辺は、都市計画マスタープランで都市拠点として位置付けられています。また、国立市景観づくり基本計画に基づく都市景観形成重点地区候補地に位置付けられています。
- ・旧国立駅舎は大正 15（1926）年の創建当時の姿に文化財として再築しました。
- ・再築用地は約 648 m²の土地です。そのうち、約 138 m²はもともと市が所有していた土地で、残り約 510 m²は、J R 東日本のご協力により、平成 29（2017）年 2 月に取得した土地です。
- ・再築位置は、駅周辺の歩行者動線の検討や J R 東日本との協議の結果、元の位置から西方向に約 3m、南方向に約 5m 移動した位置とし、駅利用者の歩行者動線を阻害しない場所としています。

【整備スケジュール】

- ・令和 2（2020）年 4 月オープン 整備完了

【旧国立駅舎の活用について】

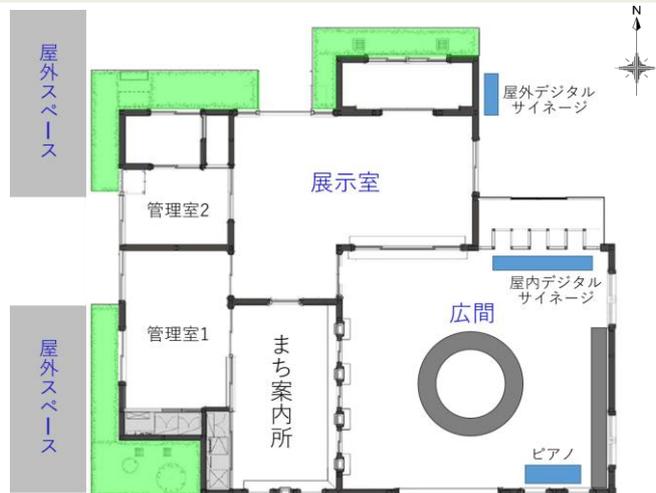
- ・くにたちの魅力を発信する拠点として活用します。
- ・イベント等の開催場所として、旧国立駅舎の利用を希望する方からの企画提案も適宜お受けします。
- ・活用方法や管理運営に関して意見交換を行う外部組織「旧国立駅舎運営連絡会」を設置しました。

■ 施設概要

所在地 国立市東 1-1-69

閉館日 年末年始（12月29日～1月3日）

開館時間	
平日	【広間】 午前7時～午後10時 【まち案内所・展示室】 午前10時～午後7時
土曜 日曜 祝日	【広間】 午前9時～午後10時 【まち案内所・展示室】 午前9時～午後7時



“まちの魅力発信拠点” 旧国立駅舎のウェブサイトはこちら ▶



②国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ（高架下市民利用施設）整備事業

【整備の考え方】

- ・「国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ」は、「市民生活」をコンセプトとして、国立駅の東側高架下（nonowa 国立 EAST の東側）に整備された施設です。
- ・平成 28（2016）年 4 月に国分寺市と「国立駅東側高架下市民利用施設等の整備・利用事業に関する基本協定書」を締結し、広域連携のひとつのモデルとして、国分寺市と共同で整備しました。
- ・各種証明書の発行や予約図書の引き渡しなどを行う市民サービスコーナー、くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」）、オープンスペース等の機能を有しています。
- ・オープンスペースは、市民交流イベント等を行うことができます。

【整備スケジュール】

- ・平成 30（2018）年 5 月オープン 整備完了

■施設概要

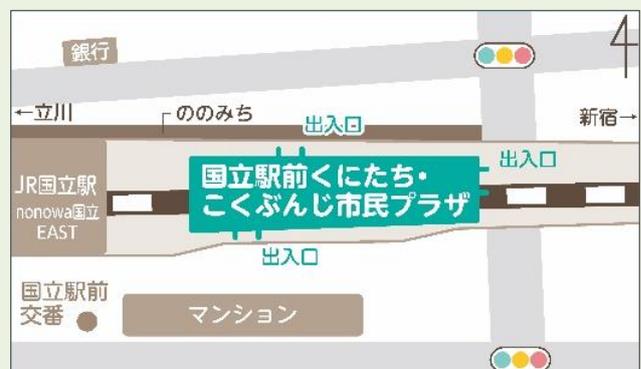
所在地 国立市北 1-14-1
開館時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 10 時
土日祝：午前 9 時～午後 10 時
閉館日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

■市民サービスコーナー

利用時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 7 時
休館日 土・日曜・祝日

■くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」）

開館時間 平日：午前 10 時～午後 7 時
土日祝：午前 9 時～午後 5 時
休館日 水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）



▲くにたち男女平等参画ステーション(パラソル)



▲市民サービスコーナー(左)、オープンスペース(右奥)

③国立駅南口複合公共施設整備事業

【整備の考え方】

- ・平成 29（2017）年 2 月に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめましたが、用地交換が実現すると、国立駅南口複合公共施設用地は J R 東日本が利活用することになります。この場合は、J R 東日本グループが計画している賃貸住宅の一部分を市が賃借して子育て支援等の公共機能を整備します。

④国立駅南口子育て支援施設整備事業



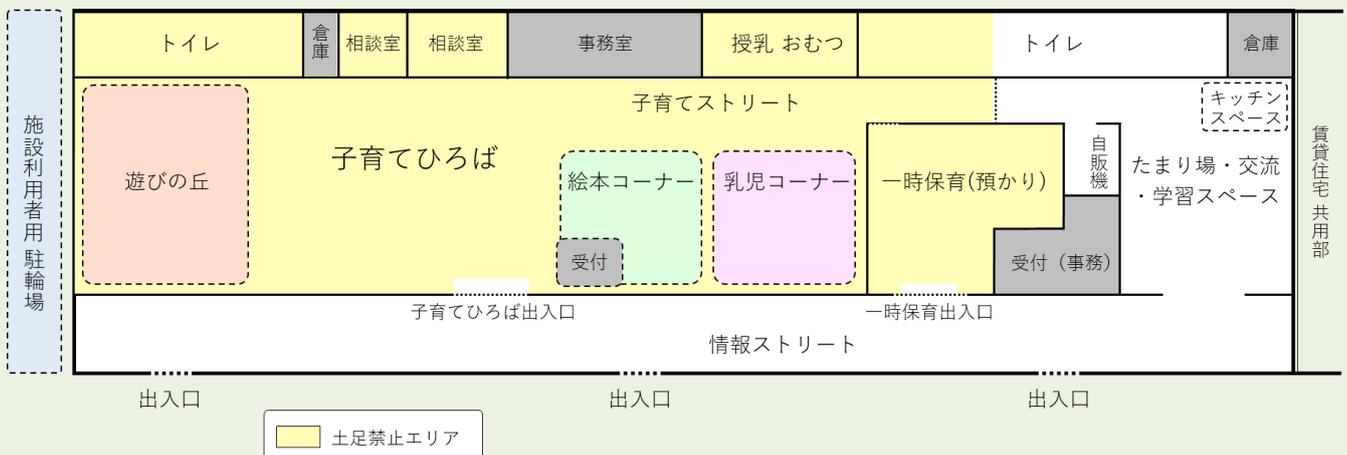
▲子育てひろば (イメージ)

【整備の考え方】

- ・子ども向け公共施設の空白地帯であり、たくさんの人が集まりやすく学生の利用も多い国立駅の周辺には、子どもの遊べる場所が以前から望まれていました。
- ・「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」を部分的に継承する形で、子育て支援機能を持つ公共施設の整備に向けて、コンセプトや導入機能等について方向性をまとめた「国立駅南口子育て支援施設整備方針」を令和4(2022)年2月に策定しました。
- ・市の重要施策である「幼児教育の推進」につながる拠点となることを目指します。

【整備スケジュール (予定)】

- ・令和4(2022)年度 設計
- ・令和5(2023)年度 工事
- ・令和6(2024)年度 開業



▲フロアマップ(基本設計段階)

3. 事業スケジュール（予定）

事業	年 度									
	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
西第1号線整備	[Blue bar from 2017 to 2020]				[Dashed bar from 2021 to 2022]		[Blue bar from 2023 to 2026]			
西第1条線延伸部整備				[Blue bar from 2020 to 2021]		整備完了				
北第1号線整備	[Blue bar from 2017 to 2021]					整備完了				
東第1号線整備	[Blue bar from 2017 to 2018]		[Dashed bar from 2019 to 2020]		[Blue bar from 2021 to 2026]					
東第2号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。									
東第3号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。									
3.4.10号線（南）整備		[Blue bar from 2018 to 2020]			整備完了					
3.4.10号線（北）整備	経済動向を勘案し着手時期を決定します。									
国立駅北口駅前広場整備	[Blue bar from 2017 to 2018]		整備完了							
国立駅南口駅前広場整備	[Blue bar from 2017 to 2020]				[Dashed bar from 2021 to 2022]		[Blue bar from 2023 to 2026]			

（問合せ）道路交通課 整備係 ☎042-576-2111 内線351・352

事業	年 度									
	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
（仮称）旧国立駅舎東西広場 および 円形公園整備	JR東日本との用地交換が実現した場合					[Blue bar from 2022 to 2026]				
旧国立駅舎再築	[Blue bar from 2017 to 2020]				整備完了					
国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ （高架下市民利用施設）整備	[Blue bar from 2017 to 2018]		整備完了							
国立駅南第1自転車駐車場	[Blue bar from 2017 to 2018]		整備完了							
国立駅南口複合公共施設整備	JR東日本との用地交換が実現した場合									
国立駅南口子育て支援施設整備						[Blue bar from 2022 to 2026]				

（問合せ）国立駅周辺整備課 国立駅周辺整備担当 ☎042-576-2111 内線382

表紙写真

右列上段：大正 15(1926)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

右列中段：昭和 39(1964)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

左列上段：平成 15(2003)年頃・国立駅前の様子

右列下段：平成 29(2017)年・国立駅前の様子

左列下段：令和 3(2021)年 11 月・国立駅前の様子